

2024年度(令和6年度)事業計画書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

認定特定非営利活動法人ホームホスピス宮崎

1. 事業活動の方針

1998年にホームホスピス宮崎を設立して26年、4半世紀になります。ホスピスの原点は患者さんとその家族に対する暖かいもてなしの心です。ホスピスとは建物ではなく考え方(哲学)であり、この考え方が宮崎の地に広く浸透していき、がんになっても障害を持っても、住み慣れた場所で安心して暮らし、安らかに逝けるまちづくりを目指してきました。

コロナ感染症が5類に移行し徐々に通常の社会生活に戻りつつありますが、コロナ禍の3年間で”いのち”の価値観は揺らぎ、病院や地域医療のあり様も変化しました。法人の基本方針である「**生命の尊厳を基本理念として、その人が望む場所で、望むように生を全うできるように、様々な職種(医療・福祉・行政)及びボランティアの連携をはかり、支え援助すること**」の原点に立ち返り、以下の事業を実施します。

- ① 在宅ホスピス支援センター事業(ホスピスボランティア事業)
- ② 人材養成のための教育プログラム
- ③ エンド・オブ・ライフケア支援事業
- ④ ホームホスピスカあさんの家事業
- ⑤ 在宅総合支援「HALEたちばな」事業
- ⑥ ホームホスピス推進研修センター事業
- ⑦ 研究・啓発・情報・広報 及び助成・寄付の活用
- ⑧ 組織運営

少子高齢化、人手不足、物価高、働き方改革などの課題に直面し、医療や介護の現場にも影響が出てきます。元日に発生した能登半島地震は、超高齢化の地域でありいまだ復興途上ですが、どこにでも起こりうることとして、災害への備えの重要性を示唆しています。

ホームホスピスカあさんの家は、能登地震の被害の状況から耐震構造が必須だと実感し、築60年を超える霧島の家をお返し、3月に生目台東の民家に転居いたしました。月見ヶ丘の家も耐震工事を予定しています。最期の日々を過ごす住まいとケアのあり方をブラッシュアップしながら、介護職員の充足に努めます。

0歳から100歳まで安心して暮らしていけるまちづくりを目指して2021年10月に開設した在宅総合支援「HALEたちばな」は、様々な課題に直面しながら3年目を迎えます。leileiは、全国に先駆け福祉型強化短期入所で運用を開始しましたが、医療型短期入所と比較して運営上の不利がありました。そこで、2023年度は、報酬の改善を求めて宮崎県へ要望書を提出し、その結果として**2024年度より県と市町村が共同して補助金が設定されることとなりました**。医療が生活を支配しないという視点においては、成人の在宅医療と小児在宅医療は共通しています。これらの業務を担うためスタッフの充実とそれに見合う待遇改善に努めます。

暮らしの保健室は、「ゆるりサロン」、「陽だまりカフェ」など、一人暮らしの方の孤立を防ぎ、地域にある居場所の役割を強化していきます。また、宮崎市にある各種相談支援のための連携体制構築を模索します。

法人内の事業所の**リーダー会議**を定期的 to開催し、運営状況も含めて情報共有できるようにします。その過程で抽出された課題を、どうやったらできるかを考え機会を創り、その機会を通じて変化をもたらせればと考えます。

2. 事業の実施に関する事項(今年度は次のような項目を重点的に実施します)

1) 在宅ホスピス支援センター事業 (ホスピスボランティア事業)

(1) 患者らいぶらり⇒2023年12月再開

実施日時：毎月第3木曜日 14:00～16:00

場 所：古賀総合病院 中央4F病棟 東棟3F病棟産婦人科

内 容：病棟の図書管理、整理

担 当：峰 瑞枝

(2) 宮崎聞き書き隊

実施日時：毎月第2日曜日 10:00～12:00

場 所：暮らしの保健室

内 容：依頼のあった方を聞き書きする

聞き書き例会の開催 (第2日曜日)

他団体の聞き書き活動のサポート

担 当：井上 直敬

*みやざき聞き書き学校 (ハウジングアンドコミュニティ財団助成)

日 時：2024年7月7日

会 場：暮らしの保健室

*日本聞き書き学校 in 東京へ参加

日 時：2024年12月21・22日

会 場：横浜にぎわい座 (神奈川県横浜市)

(3) 緩和ケア病棟園芸ボランティア

実施日時：毎月第1・第3水曜日 10:00～12:00 (現在休止中)

場 所：宮崎市郡医師会病院 緩和ケア病棟 中庭

内 容：緩和ケア病棟の庭園の花の管理等

担 当：村中 伸子

(4) かあさんの家ボランティア

実施日時：随時

場 所：ホームホスピスカあさんの家

内 容：庭の手入れ(ご家族)

ボランティア実習(看護学生)

担 当：久保野 イツ子

2) 人材養成のための教育プログラム

(1) 市民公開講座「元気が出る介護」(仮) (令和6年度 宮崎市在宅療養相談事業)

期 日:未定

会 場:未定

講 師:未定

(2) がん患者と家族のためのサポーター養成講座

「いつかくる“もしも”にむけて」(仮) (宮崎県がんサロン等運営支援事業業務委託)

期 日:未定

会 場:未定

講 師:未定

3) エンド・オブ・ライフケア支援事業

(1) 暮らしの保健室

「地域に開放した暮らしの保健室を目指して」

地域との連携…赤江地域まちづくり推進委員会・宮崎市赤江地区地域包括支援センター

暮らしの保健室だより 年12回

今年度は、「住まいとコミュニティづくり活動助成」を活用し、地域連携や暮らしの保健室利用者を増やす取り組みをしていく。

① ゆるりサロン (ハウジングアンドコミュニティ財団助成)

・要介護者、要支援者でもなく、自分の身の回りのことはできるが、日中は主に一人暮らしの方々が共に集って、一緒にランチを食べてお茶の間の居場所となっている。

・地域包括ケアセンターとも連携を取りながら、ゆっくりした時間と空間を提供する。

実施日時:毎週月・水曜日 10:30~15:00

場 所:暮らしの保健室

内 容:健康体操、パッチワーク教室、音楽遊び、出張コンサート、季節の行事など

担 当:宮脇 裕子(事務局)

②これからライフデザイン塾 (ハウジングアンドコミュニティ財団助成)

「聞き書き講座」

期 日:2024年7月7日

会 場:暮らしの保健室

講 師:小田 豊二氏

「住み慣れた地域で暮らすために(仮)」

期 日:未定

会 場:暮らしの保健室

講 師:市原 美穂

「認知症予防レシピ(調理実習)」
期 日：2024年8月、12月
会 場：暮らしの保健室
講 師：松井 康代 氏

(2) ふらっとカフェ (がんサロン事業宮崎県委託)

- ・がん患者団体等との情報交換 (AYA 世代患者会など)
 - 主 催：宮崎県
 - 運営企画：ホームホスピス宮崎
 - 実施日時：毎月第2水曜日 13:30~16:00
 - 場 所：県立宮崎病院 会議室(がん拠点病院)
 - 担 当：太田 幸子

(3) 宮崎市在宅療養支援事業 (宮崎市補助事業)

- ・随時病気や介護の電話相談を受ける
 - ①在宅療養でんわ相談室
 - 相談担当：理事長・看護師・保健師・事務局
 - ②お薬相談 (HALE たちばな)
 - 毎月第4月曜日 11時00分~12時00分 (うち4回は暮らしの保健室にて実施)
 - 担当：岡元 俊雄(当法人理事)

(4) 相談窓口ネットワーク (ハウジングアンドコミュニティ財団助成)

- ・各種相談窓口を持つ団体や地域と繋がり、共に地域を支える
 - 担当：久保野イツ子・岡田 瑞穂
 - ①認知症や生活相談への対応
 - ②地域の高齢者が立ち寄れる日を設ける(月2回程度)
 - ③相談窓口をもつ地域の団体と連携し、情報交換や連携強化を図る。

4) ホームホスピスかあさんの家事業

(1) かあさんの家の運営

○かあさんの家・曾師 ○かあさんの家・月見ヶ丘 ○かあさんの家・生目台

統括マネージャー：久保野イツ子

- ・介護スタッフの充足を図る。そのために多様な働き方に対応する環境整備を行う。
- ・スタッフ会議と、多職種との連携のためにチームカンファを開き、情報の共有に努める。
- ・家族会の充実と交流会の開催。
- ・運営の安定を図る（入居率の向上）。
- ・介護保険と障がい福祉サービスの検討。
- ・職員のケア水準の向上とスタッフの増員は課題であるため、求人募集の工夫を続ける。
- ・BCPの策定を行う。

(2) 訪問介護ステーションぱりおん（医療・介護保険規定による事業）

- ・ホームホスピスかあさんの家へスタッフ派遣

管理者：甲斐 昌江

【スタッフ研修】

- ・スタッフ会議及びカンファレンスを通して、ケアの理念を共有する。
- ・防災訓練（備蓄、消火訓練、避難訓練）・感染症対策
- ・口腔・栄養管理の強化・薬についての知識を学ぶ

【医療・介護サービス事業所との連携】

- ・かかりつけ医、訪問看護ステーション、訪問薬局、訪問歯科との連携。訪問リハ、福祉用具、デイサービス、デイケア、入浴サービスなどの介護保険のサービス事業者との連携

【外部研修】

- ・ホームホスピス実践者育成塾の受講
期日：2024年7月13, 14日
会場：熊本県熊本市
- ・第13回ホームホスピス全国合同研修会の受講
期日：2024年11月
会場：神奈川県川崎市

5) 在宅総合支援「HALE たちばな」の事業

HALE たちばな

施設長：堤 育子

副施設長：日隠 由美子

(1) 医療・介護保険・障害福祉規定による事業

①みつばち診療所

内科・小児科・精神科・在宅医療（在宅療養支援診療所）

院長：楠元 恭子（家庭医療専門医）

副院長：田中 美幸（4/1 より）

統括看護：前畑和樹

- ・24 時間体制で、子どもから大人まで総合的に診療する。
- ・現在、在宅医療と週 1 日の外来日を設けているが、今後は必要に応じて見直しも検討する。
- ・宮崎大学の地域医療・総合診療医学講座（吉村学教授）と連携し、家庭医療・総合診療・地域医療に関する臨床実践教育の場としての役割も担う。

②訪問看護ステーションぱりおん

サテライト：訪問看護ステーションサテライトぐりーん（恒久本部内）

所長：堤 育子

- ・かあさんの家をはじめ、地域の在宅療養を支える。特に重度の障がいがある小児在宅療養を支える。
- ・福祉型強化短期入所、日中一時支援事業の運営を担う。
- ・看護学生の実習を受け入れる。
- ・0 歳から 100 歳までの医療充実のためのまちづくりを目指したネットワーク構築に寄与する。
- ・宮崎小児在宅療養を支える会の運営。

③日中一時支援 ohana

管理者：川越 やよい

- ・障がいや医療的ケアの必要な主に小児の日中一時預かり事業を行う。
(定員：火～木 10 名、月・金 5 名)
- ・運営日：月～金(土日祝年末年始休み) 9 時～18 時
- ・送迎あり

④共生型短期入所(福祉型強化)施設 leilei

管理者：広瀬 知佳

- ・主に医療的ケア児や重症児のための福祉型強化短期入所事業（5 床）を行う。
共生型のため、介護保険適用者も利用可能。
- ・運営日：金～日(年末年始休み) 9 時～翌 16 時(帰り 15 時)、最長 2 泊 3 日
- ・金～土は送迎あり

2024年度は、日中一時支援の延長にある生活介護サービスの新規事業計画を策定する。また、行政に対し、福祉型短期入所サービス開設に伴う研修生の受け入れや育成事業も提案していく。なお、引き続き日中一時支援サービスの報酬単価見直しに関する行政（市町村）への提言などを行なっていく。

⑤相談支援事業 luana（仮）

2024年度から、障害福祉サービスの一環として、相談支援事業を立ち上げる。これにより、leilei, Ohanaの効率的な利用促進と、宮崎市の医療的ケア児が適切な障害福祉サービスを受けることのできる基盤づくりを目指す。

（2）医療的ケア児と家族のための支援事業

- ・2021年度より取り組んできた休眠預金活用事業「社会的孤立解消のための事業」が2023年度で終了したことを受けて、その継続のためにHALEたちばなの事業として「医療的ケア児と家族のための支援事業」を新たに設ける。

対象者:主にHALEたちばなのleilei、ohanaを利用する子ども達のご家族

内 容:

- ①県内の医療的ケア児の実態調査
- ②ヨガ教室やウクレレ教室などの定期開催
- ③ohana、leileiの利用者を中心とした季節の行事（花見、夏祭り、ハロウィーン、クリスマスなど）
- ④県内の家族会との定期的な意見交換（オンラインミーティング）の実施
- ⑤ウェブサービス「つどいけあ」の運営
- ⑥家族が在宅で取り組める仕事の調査や紹介
- ⑦ピアサポートの一環として「ママランチ会」の企画・実施
- ⑧各種セミナーの開催

（3）たちばな学舎・コミュニティカフェ游椿の利用

①たちばな学舎（3階）

- ・宮崎大学と連携した研修施設として開設。
- ・カルチャー教室を開催したり、多目的スペースとしての一般貸出も可能（平日の日中のみ）。

②コミュニティカフェ游椿（1階）

- ・ケアルームやオストメイト対応トイレを備えたカフェとして開設。
- ・営業は、外部の方（カフェkiki）と委託契約を結んでの運営。
- ・クラフト作品販売スペースやママランチの開催など、「医療的ケア児と家族のための支援事業」の会場としても活用する。

6) ホームホスピス推進研修センター事業

(1) ホームホスピス研修の受け入れ (全国ホームホスピス協会より委託)

- ・「ホームホスピスの学校」受講生の実習受入機関として、研修内容を組み立て計画に添って、指導や相談に乗りながら、ホームホスピス立ち上げまで助言指導する。
- ・ホームホスピス運営や従事スタッフが運営やケアなどスキルアップするための研修受け入れをする。

(2) 実習の受け入れ

- ・感染予防を徹底しながら実習計画を立て、かあさんの家での実習を指導。

(3) 一般社団法人全国ホームホスピス協会 (全国ホームホスピス協会事務局業務委託)

担 当: 黒岩 雄二・岡田 瑞穂・岡田 直樹・岩切 知峰

- ・第8回ホームホスピス実践者育成塾の開催

期 日: 2024年7月13、14日

会 場: くまもと県民交流館パレア(熊本県熊本市)

- ・第13回ホームホスピス全国合同研修会の開催

期 日: 2024年11月

会 場: 川崎市コンベンションホール(神奈川県川崎市)

- ・ホームホスピスの学校(第7期・8期)

ホームホスピスをつくりたい、ホームホスピスのケアを学びたい人のための講座
オンライン授業・実習

7) 研究・啓発・情報・広報 及び助成・寄付の活用

(1) 認定NPO 寄付文化の醸成

- ・賛助会員を増やす
- ・マンスリーサポーター制を導入し、継続的な寄付収入の増加を目指す
- ・HPで賛助会員や寄付の呼びかけ
- ・ファンドレイジングの活用
- ・助成金の申請

認定ファンドレイザー 黒岩 雄二

準認定ファンドレイザー 岡田 瑞穂

(2) 助成・寄付

- ・助成: ハウジングアンドコミュニティ財団
- ・寄付: マンスリーサポーター
 - 「Syncable」 かあさんの家
 - 「readyfor」 HALE たちばな

(3) ホームページ SNS の充実・報道

① ホームページ SNS

- ・ホームページの運営 (HHM・HALE たちばな)
- ・Facebook、Twitter、Instagram
- ・ニュースレター(年 2 回発行)
- ・暮らしの保健室だより(年 12 回発行)

求人情報や利用促進のための情報発信にも力を入れる。

② 報道

- ・研修会などの事業の広報を、報道機関、関係団体へ依頼する。

(4) 講師派遣、見学及び研修の受け入れ

- ・大学講師派遣、学会などへの講師派遣
- ・見学・現場実習等受け入れ
- ・他施設職員現場研修の受け入れ

8) 「ホームホスピス宮崎設立 25 周年記念感謝の集い」準備会

- ・実行委員会の設置

9) 組織運営

(1) 会議の業務

- ・定時総会の開催

期 日： 5 月 25 日(土)13 時 30 分～15 時

会 場：暮らしの保健室

- ・理事会の開催(年 3 回予定)
- ・リーダー会議の開催(月 1 回 第 4 木曜日)
- ・事務局会議の開催

(2) 会員管理業務

(3) 経理業務

収支の状況を定期的に確認する方法を検討し、効率的な会計管理を目指す。

(4) 労務管理業務

就業規則(給与規定)を見直し、適切な労務管理を行う。

(5) 総務関連業務・届出等

《事務局職員体制》

【本部事務局】

事務局担当理事:黒岩 雄二

経理担当:2名 総務・事業担当:3名 かあさんの家担当:1名

【HALE たちばな事務】

事務長:小川 博司

HALE 事務担当:1名 訪問看護事務担当:2名

診療所事務担当:1名 障害福祉事務担当:2名(兼務)